

(110)

(生年月日)	なか 西 明 子
本 籍	
学位の種類	博士(医学)
学位授与の番号	乙第1638号
学位授与の日付	平成8年3月15日
学位授与の要件	学位規則第4条第2項該当(博士の学位論文提出者)
学位論文題目	乳癌患者の骨量測定と抗エストロゲン剤が骨量に及ぼす影響の検討
論文審査委員	(主査) 教授 浜野 恭一 (副査) 教授 武田 佳彦, 細田 瑛一

主 論 文 の 要 旨

〔目的〕

乳癌術後補助内分泌療法として広く用いられる抗エストロゲン剤の Tamoxifen (以下 TAM) は、骨量保護作用のあるエストロゲンに拮抗し、理論的には骨代謝に対し悪影響を及ぼすことが懸念されるが、本邦での報告は少ない。そこでまず、乳癌患者の骨量を測定し、健常女性との比較検討を行い、さらに経時的に骨量を測定して TAM の投与が骨量に及ぼす影響について検討した。

〔対象および方法〕

対象は1990年1月から1994年12月までの間に、当教室内で治療を行った乳癌症例のうち、骨量を microdensitometry 法 (以下 MD 法, n=144) および dual energy X-ray absorptiometry 法 (以下 DXA 法, n=265) にて測定した409例である。

1. 乳癌患者の骨量を測定し健常女性と比較した。
2. TAM の投与が骨量に及ぼす影響について、TAM 投与群と非投与群で比較検討した。

〔結果〕

1. 乳癌患者の骨量は、MD 法では健常女性より低い傾向を示し、特に若年者にその傾向が強くみられた。DXA 法でも乳癌患者に基準値以下の出現率が高く、

特に50歳未満の群では基準値以下の出現率が有意に高かった ($p < 0.01$)。

2. TAM の投与が骨代謝に及ぼす影響として、MD 法では骨粗鬆症発症率 (骨パターン E 以下) は TAM 投与群の方が低い傾向を示した。DXA 法でも骨密度の減少例の出現率は TAM 投与群の方が有意に低く ($p < 0.01$)、TAM は骨量の低下を助長しないという結果を得た。

〔考察および結論〕

MD 法、DXA 法による測定結果では、乳癌患者は健常女性より骨量が低下している例が多かった。特に50歳未満の群では基準値以下の出現率が高く、乳癌患者は骨量の最高値がもともと低い一群なのではないかということが推測された。

抗エストロゲン剤である TAM は、骨代謝においてはアンタゴニストとしては働かず、むしろアゴニストとして働き、骨量維持効果のある事が示唆された。理論的に考えられる TAM の骨代謝への悪影響はないと考えられ、術後乳癌患者に対する TAM の積極的な投与が、将来予測される骨粗鬆症の予防にもなりうる可能性が示唆された。

論文審査の要旨

乳癌術後補助内分泌療法として広く用いられる，抗エストロゲン剤の Tamoxifen (以下 TAM) は，骨量保護作用のあるエストロゲンに拮抗し，理論的には骨代謝に対し悪影響を及ぼす事が懸念される．海外では TAM に骨量保護作用のある事が言われているが，本邦での報告は少ない．

本論文は，乳癌患者409例の骨量を測定し，健常女性との比較検討をおこない，さらに経時的に骨量を測定して TAM の投与が骨量に及ぼす影響について検討したものである．

その結果，乳癌患者に基準値以下の骨量の症例が多く，また TAM を投与した群では骨密度の減少例の出現率は有意に低かった．

この事より，乳癌患者は骨量が低下しており，また抗エストロゲン剤である TAM には骨量維持効果が存在する事を証明したもので，臨床上価値ある論文である．

主論文公表誌

乳癌患者の骨量測定と抗エストロゲン剤が骨量に及ぼす影響の検討

東京女子医科大学雑誌 第65巻 第11号
975-986頁 (平成7年11月25日発行) 中西明子，
木村恒人，浜野恭一

副論文公表誌

- 1) 重症胆嚢炎の手術適応に関する検討．日救急医学会関東地方会誌 9(2)：146-147 (1988) 中西明子，今 真人，中川隆雄，鈴木 忠，浜野恭一，他 5 名
- 2) 手術症例に対する高濃度分枝鎖アミノ酸輸液 (アミニック®) 末梢静脈投与時の臨床評価—分枝鎖アミノ酸投与量が栄養評価指標に及ぼす影響—．薬理と治療 19(9)：343-359 (1991) 城谷典保，加藤一彦，今井俊一，中西明子，浜野恭一，他 3 名
- 3) ディスポーザブル持続注入器を用いた硬膜外持続注入法による術後疼痛管理について．日臨外医学会誌 54(7)：58-62 (1993) 泰川恵吾，中西明子，曾我幸弘，藤井昭芳，木村恒人，浜野恭一
- 4) 乳癌患者における術後内分泌療法と骨量変化につ

いて．日臨外医学会誌 54(8)：6-11 (1993) 木村恒人，中西明子，村木 博，神尾孝子，浜野恭一，他 3 名

- 5) Effects of granisetron against anticancer chemotherapy-induced nausea and vomiting in patients with recurrent advanced breast cancer: a randomized crossover comparison with methylprednisolone (進行再発乳癌患者に化学療法がひきおこす悪心嘔吐に対するグラニセトロンの効果)．日外科系連会誌 20(5)：397-407(1995) 木村恒人，宮川隆平，田中信一，中西明子，浜野恭一，他 5 名
- 6) 乳癌における腫瘍マーカー-Sialyl-Le^xの臨床的意義．東女医大誌 65(臨増)：E16-E21 (1995) 山本和子，木村恒人，中西明子，藤井昭芳，浜野恭一，他 5 名
- 7) 乳房温存療法の臨床病理学的検討—残存乳房内再発を中心として—．東女医大誌 65(臨増)：E22-E27 (1995) 加藤孝男，木村恒人，中西明子，浜野恭一，相羽元彦，他 9 名